

10・21 国際反戦デーに
全国学園から決起しよう

の軍事力増強」に対する危機意識を煽動し、在「韓」米地上軍撤退がもたらす軍事力のギャップを叫びたてて、アジア諸国人民の強い警戒心を呼び起している。

10・15—21に闘い集中を

だが、人類の生命を脅かす帝国主義のまき返しに未来はない。新ストックホルムアピール五億人署名を継承した、世界の平和勢力は国連総会を舞台に、一五国際軍縮行動デーを焦点に、特別総

を開始した。原水協・日共が大衆運動をサポータージュシ、批判的見解をもつ多くの人々を「統一に反対する妨害分子」として統一代表団にも排除の論理を持ち出そうとしている一方、原水禁は四月に提出した対政府軍縮要求書を基礎に、対政府闘争を強化せんとしている。また九月二九日の米軍偵察機墜落事件（横浜）を契機に、住民生活を脅かす日米安保に反対する闘いが盛り上がり、神奈川反安保・地区労を中心に損害賠償や基地撤去

核軍縮をめぐる攻防

第三回国連総会は九月二〇日、約三カ月にわたる討議の幕を開けた。開会にあたって、アメリカ方の不当な拒否権行使によって加盟が延びていたパナマ社会主義共和国の新加盟が実現した。国連は帝国主義による世界支配の道具ではもはやない。社会主義国、民族解放諸国の発言力が増大し、平和と社会進歩を前進させる有利な舞台に変化したのである。中でも、来年五—六月の国連軍縮特別総会は、政治的緊張緩和を軍縮で補完する闘いの一大焦点として登場している。

今総会では、中東問題、南部アフリカ問題、新国際経済秩序問題が論議されることになっているが、注目されるのは前総会で採択された「一九七六年五月六日に軍縮特別総会を開催する決議」に基づいて、特別総会の最終議案が討議、決定されることである。既に今年五月の特別

新憲法に全般的完全軍縮の推進を盛り込んだソ連は九月二七日、国連で①「国際緊張緩和の進展、強化に関する宣言、

議やSAITTO交渉などを通じて、平和勢力と帝国
主義の間に、全世界平和勢力と連帯して、日本の平和勢
力に對する、日本軍の冷戦軍拡政策強化と対決することが緊急
である。費拉大の策動、日米軍事協議の活発化が、アジ
ヤの戰的姿勢を転換させ、軍備縮小と平和外交実現へ
導く。「韓」ゆ着や政治反動と対決し、生活防衛闘争を
進めよう。

か強まっている。これは国家財政の三分の一が借金という状態の下で、インフレを促進し、国民生活を圧迫することにともなるであろう。しかし、アジアの平和と安全を脅かすこうした策動が成功する保障はどこにもない。来年の国連軍縮特別総会を前にして、国連内の大多數の国は戦争挑発、

④対「韓」経済援助、防衛費の分担を日本側に押し、日米軍事協議会での話が確認された。また、この時期に岸元首相と会談したカーターは、「国防費をGDPの1%に抑えなくてもよいのではないか」と露骨な口裏を合わせる政府は、「韓」国軍近代化計画への20億ドル援助をはじめ既に対馬、宗谷、津軽三海峡

を促進し、国民生活を圧迫することにもなるであらう。しかし、アジアの平和と安全を脅やかすこうした策動が成功する保障はどこにもない。来年の国連軍縮特別総会を前にして、国連内の大多數の国は戦争挑発、

五月ポーランドのワ
ヤワで開かれた恒久平
建設者世界会議は、「恒
和をつちなてよう」の
ールとともに、「十・

一五軍拡競争停止・軍縮の
ための行動デー」を全世界
人民に呼びかけた。

七八国連軍縮特別総会へ
向けて全面核実験停止、核

先制使用禁止協定の締結を
求める世界反帝平和勢力の
攻勢は、「緊張緩和を逆転
不可能なものに」「平和な
世界は建設できる」という

先制使用禁止協定の締結を
求める世界反帝平和勢力の
攻勢は、緊張緩和を逆転
不可能なものに“平和な
世界は建設できる”という

功に向けて、政府を核軍縮をはじめ
の軍縮の流れに合流させ、冷戦軍拡
の転換からアジア集団安保体制確立
を進めることは国際的責務である。
在日本平和運動は今秋期、その闘い
こうした闘いと連帯して、学生平和運
動の任務は今秋極めて重大である。それ
はまず、一〇・一五国際軍縮行動アデー
に連帯し、中性子爆弾開発、軍拡競争停止
の世論形成をはかりつつ、署名推進母体
を強化して、国連軍縮特別委員会に強力な

と連帶して、学生平和運動極めて重大である。それ一五国際軍縮行動デ－に爆弾開発、軍拉競争停止かりつつ、署名推進母体

開始した。原水協・日共が大衆運動を
スター・ジュシ、批判的見解をもつ多く
々々を「統一に反対する妨害分子」と
統一代表団にも排除の論理を持ち出
ちとしている一方、原水禁は四月に提
した対政府軍縮要求書を基礎に、対政
争を強化せんとしている。また九月
日の米軍偵察機墜落事件（横浜）を
に、住民生活を脅かす日米安保に
する闘いが盛り上がり、神奈川反安
地区労を中心に損害賠償や基地撤去
を求め、一〇・二二は開会中の臨時国会
に向けた政治的対決点でもある。国立大
学費値上げ、文教福祉予算切り捨てをは
じめ、国民からの収奪政策を強化する福
田内閣に対して秋闘労働者は、減税、雇
用、反合理化を掲げて生活防衛闘争に起
ち上がろうとしており、また、金炯旭発
言で暴露された日「韓」のゆ着を糾弾、
その腐敗政治と反動化と対決する闘いも
集中しようとしている。

全国の学友諸君、こうした闘いと結合
して、一〇・一五、一〇・二二闘争を闘
い抜こう。

78年国連車縮特別総会を成功させよう！

国連世界軍縮会議早期開催、平和と世界建設を！

緊張激化政策に反対し、団結を強めている。世評は一〇・一五を国際軍縮行動デーとしてその攻勢を強めている。

月十二日ソモSALT交渉は、巡航ミサイルも制限の対象にすることに成功、遂に妥結に至った。

一方中性子爆弾に対して

この有利な条件を生かし、日米「韓」軍事同盟の再編強化、わけても日本の冷戦軍拡政策を阻止し、アジア集団安保へ前進することは、日本平和運動の国際的責務である。すなわち、在「韓」米軍即時完全撤退、政府の朴へのテコ入れ中止を要求し、P3C、F15導入阻止、軍事費削減、日ソ・日朝・日越平和条約の締結を要求して闘うことである。

も世評呼びかけの抗議行動（十一月六日から一週間）欧州二八ヶ国共産党会議抗議声明を先頭に、全世界平和勢力の闘いが集中され、配備阻止の展望すら切り開く段階に入っている。

そしてこうした闘いこそ七八年国連軍縮特別総会での、全面完全軍縮に向けた諸措置を促進させ、実りある成果を勝ちとる武器である。

全国の学友諸君、既に闘いを開始した総評労働者とともに、特別総会に向けた闘いがすでに開始されている。そして十月十五日には、都平連、平和と軍縮をめぐり大府府連絡会主催で

揺ぎない確信のもとに展開されている。これらと呼ばれた新ストックホルムアピール運動は、全世界で四億の署名を結集して聞われた。

それぞれ東京、大阪で大衆集会や講演会が開催されている。加えて特別総会成功に向けた署名運動、中性子爆弾抗議ハガキ運動も高揚せんとしている。十・一五を焦点にこうした闘いを更

しかしながら帝國主義者は、これらになおも抵抗の手をゆるめようとはしない。米國カーター大統領は、中性子爆彈の開発を行ない、巡航ミサイルや大量殺りく兵器の製造をもつて、現在の核軍縮の綱の目をすり抜け、軍事的緊張状態をつくり出さんとしている。これらは、NATO軍の増強や

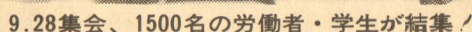
に強化してゆこう。

抗議に着く
集会

「人権外交」による反ソキヤンペーンとともに、SALT交渉や全欧安保再検討会議を引き延ばし、その成果をおしつぶそうとするものに他ならない。

だが世界平和勢力は、こうした策動を許さない。十月二八日、大阪・剣先

九月二八日、大阪・劍先



福田内閣の独占れてやり値上げ、増税、福祉切り捨てと対決し、臨時国会へ反自民反独占統一闘争強化を！

大蔵省の国立大学費三・倍化策動粉碎、政府文部省の低文教政策を通じた大学再編攻撃と対決し、全国一斉学費値上げ阻止、文教予算拡大、民主的改革闘争へ前進しよう！

78特別総会成功に向け、十・一五軍縮デーを焦点に、中性子爆弾糾弾、全面核停実現、国際核軍縮の闘いに合流し、P3C・F15導入阻止、平和政策への転換かがけ十・二一国際反戦デーに決起しよう！

八・九狭山上告棄却断固糾弾、部落解放同盟に連帯し地名総鑑―学内差別糾弾闘争、解放教育闘争強化で十・三一、十一・一三大闘争中央集会に合流しよう！

文化、サークル、自治会活動の活発化通じ、秋季大学祭の大衆的成功を克ち取ろう！

公園で、「日韓ゆ着糾弾、11・22留學生青年すべての政治犯即時釈放、在韓米軍全面撤退、大阪集会」が開かれた。この集会は反安保大まき起こった。

行なわれた中でも不当逮捕された留學生の一人、白王光氏の肉親の訴えに、集会参加者から大きな拍手が

ル地下鉄問題や日韓大陸棚協定を巡る疑惑や、金炯旭証言にみる日「韓」の経済的政治的ゆ着がクロースアップされ、また在「韓」米

阪府民共闘、総評大阪地評の主催によるもので、約四千人の労働者、市民、学生が詰めかけ、平和と軍縮をめざす大阪府学生連絡会議も学内の運動をふまえて合流した。

集会は、日韓の着弾弾に地上軍撤退に伴う日米安保、日米軍事協力強化が進められているとき、これと対決する積極的な闘いとなった。

一方、この集会では、「11・22留学生、青年をはじめ

「日韓の着る徹底的に暴露し、大衆の力で糾弾、粉砕しよう」という中江議長、強いアピールに続いて、朝鮮総連、11・22救援会、在日韓国人政治犯を救援する家族僑胞の会から、各々、朝鮮の自主的平和の統一を阻害し、朴フアツシヨ政権へ経済的、政治的、軍事的デコ入れを続ける日本政府の姿勢に鋭い批判が

再編 P3C・F15導入等
自衛隊の対潜・防空能力向上、総じて日米韓軍事一体化、南北分断固定化として推進されていることを見逃してはなりません」という、在韓全軍全面撤退に関する決議、更に、11・22留学生、青年即時釈放に関する決議を採択し、デモに出発した。この集会は、大阪段階での取り組みとはいえ、ソウ

めとする在日韓国人政治犯の人権救済に関する要請書を採択した。これは日本政府に対して死刑執行阻止のための外交的措置や、KCIAの国外追放を要求したもので、十月一二日対政府上京団を派遣、同時に「在日韓国人政治犯即時釈放、金大中氏の原状回復を要求する国民集会」が開かれることになっている。

10・21 国際反戦デー

中央集会	主催	労働組合総評議会
	場所	明治公園
大阪集会	主催	総評大阪地評
	場所	大阪城公園